



常澄中学校だより

## 「常に澄む」

令和6年8月27日

No. 5

「常に正しかれ」「常に豊かなれ」「常に気高かれ」

### 輝け！オリンピック出場のアスリートのように！！

8月27日（火）、近隣の市町村に先立ち、2学期が始まりました。朝、大串公園で生徒の皆さんを迎えていると、ほとんどの生徒が、元気な声で、笑顔で挨拶ができていました。その手には、夏休みの課題がしっかりと抱えられていました。その姿から、1学期の終業式の時に話した、長い休みを有意義に過ごせたという充実感が伝わってきました。大変うれしく思いました。何より、大きな事故もなく、元気に登校できたこと、ホッとしました。また、始業式前には、夏休み中に部活動で活躍した、吹奏楽部、バレーボール部、サッカー部の表彰を行いました。他の部活もシード決めの大会など、熱い中ではありましたが、その活躍を大変素晴らしいものでした。これから始まる新人戦、楽しみです。

さて、始業式では、各学年の代表が2学期の抱負を発表してくれました。以下がその内容です。

※原文のまま掲載いたします。

#### ☆T.Uさん（1年2組） 「二学期の抱負」

私は、一学期の学校生活を見直して二学期に頑張りたいことが二つあります。

一つ目は、勉強です。一学期は、主にワークを一、二回ずつやっていました。そこで、学習の取組を見直して一学期のテスト結果より向上できるように頑張りたいです。そのために、数学や地理、英語が苦手なので解き直す他にも、一学期にあまり取り組めなかったキュービナに取り組んでみたいです。そして、授業で分からなかったところや苦手なところをしっかりと復習していきたいです。二つ目は部活動です。私はバレー部に所属しています。はじめはわからないことでいっぱいだったけど、先輩方に教えてもらったのでしっかりと覚えて少しずつ自分から動けるようになりました。練習では、もっとボールの角度や打つ力の加え方、正確な位置へのトスや安定したレシーブができるように工夫していきたいです。これからは、先輩方の練習の様子をよく見て大切なことを今まで以上に学んでいきたいと思います。

この二つのことを二学期からは、頑張っていきたいです。

#### ☆SRさん（2年2組） 「二学期に向けて」

私は、二年生になり、出来るようになったこと、課題となることが見えてきました。

一つ目は、自主学習についてです。二年生になり、テスト二週間前から、計画的にワークを進めることができるようになりました。そして、ワークを二周、三周と繰り返すことで授業で分からなかったところを定着するまで取り組むことができるようになりました。しかし、テストの結果をふり返ると、自主学習で取り組んだ教科とそうでない教科で点数にかたよりが出てしまい、目標点数に届くことができませんでした。この反省を活かし二学期では、テスト前だけでなく自主学習を継続的に進め、苦手だった教科も点数がとれるようにしていきたいです。

二つ目は、部活動についてです。私は女子バスケットボール部に所属し、副部長を務めています。総体が終わり、先輩方が引退して私たち二年生がチームの中心となり、あと少しで新人戦も始まります。これまでは、自分のプレーでミスがないようにすることばかり意識していました。しかし、これからはよりチームプレーが大切になってきます。夏休みの辛い練習を乗り越えた仲間と

ともにチームを盛り上げて中央地区進出を目指します。

私は、この二つを意識して二学期の生活をよりよいものにしていきます。勉強と部活を両立し、自分の目標に向けて日々努力していきたいです。二学期には、様々な行事があります。体育祭では、一学期で深めた絆で一致団結して競技に取り組み、合唱コンクールでは、心を一つにしてすばらしい合唱になるように、一つ一つの行事をクラスみんなで楽しんでいきたいです。二年生もあっという間に終わってしまいます。たくさんの思い出を残せるように、日々を大切に生活していきたいです。

### ☆N.Mさん（3年2組） 「二学期を有意義に過ごすために」

私達三年生にとって受験に対しての勝負となる夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まりました。私の一番の抱負は、受験への対策です。受験まで半年もない時期となりました。今までの反省として、あまり集中して取り組まなかったり学習時間を十分に確保できていなかったりという点がありました。それらの点をふまえて改めて受験生だという自覚をもち、これからの学習で今まで以上に集中し自分の苦手とする学習内容を重点的に取り組んでいきたいです。また、時間の使い方を考える事を特に意識して、一日一日の時間を無駄にしないようにしていけたらと思います。

また、学校行事や日々の生活を大切にすることも抱負としたいです。三年生にとって体育祭や合唱コンクールは中学校最後の行事となり、文化祭の関しては最初で最後の行事となります。それぞれのクラスが一致団結をし、最後の行事としてふさわしい結果を残してよい思い出をつくっていききたいと思います。学校行事だけでなく、日々クラスや学年で過ごす時間も大切にしていきたいです。

これら二つの抱負を時に意識し、残り少なくなっていく中学校生活を有意義に過ごしていきたいです。

3人とも、代表としてしっかりと決意を述べました。その態度は大変立派でした。学級でも、2学期に頑張りたいことを一人一人が目標設定しました。ぜひ、達成のために、日々大切に過ごしてほしいと思います。

さて、始業式の校長の話として、パリオリンピックから感じたことを2点述べました。1点目は、オリンピックに出場した選手たちの素晴らしさです。オリンピックでの結果を問わず、出場するまでの、表には出てこない選手たちの努力について話をしました。2点目は、そんな選手たちにSNSをとおして誹謗中傷を浴びせた多くの人が居たことです。おそらく自分では何の努力もしていないのに、名前や顔が出ないことをいいことに、人生をかけて努力し続け、オリンピック出場を成し遂げた選手を攻撃することの卑怯さ、腹立たしく思ったこと、悲しく思ったことを伝えました。そして、自分たちの生活に当てはめて考えてもらいました。「学校は小さな社会」。生まれも育ちも違う人が集まって共同生活をする場である。だから、ぶつかり合うこともある。しかし、陰で、陰湿に誹謗中傷するのではなく、面と向かって話し合い、分かり合って生活することで、学級、学校が誰にとっても居心地のいい場所になる。そんな環境の中で、アスリートのように、自分の目標に向かって精一杯に取り組んでほしい、と伝えました。

今学期、生徒一人一人が1学期以上の活躍をしてくれると期待しています。